

被災 68 年 3・1 ビキニデー集会アピール

3・1 ビキニデー集会に参加した私たちは、ロシアによるウクライナ侵略に強く抗議し、ロシア軍の軍事作戦の即時中止と撤退を強く求めます。

1954 年 3 月 1 日、アメリカがマーシャル諸島ビキニ環礁でおこなった水爆実験による被災から 68 年、今年のビキニデー集会は、オンライン集会として開かれています。

昨年 1 月 22 日、核兵器禁止条約が発効し、核兵器廃絶に向けた新しいステージが始まりました。現在、署名国が 86 カ国、批准国が 59 カ国となり、昨年 12 月の国連総会では、核兵器禁止条約の参加を求める決議が 128 カ国の圧倒的多数の賛成で採択されました。

今年半ばに予定されている第 1 回締約国会議には、NATO 加盟国のドイツ、ノルウェーがオブザーバー参加を表明するなど、国際政治の流れは核兵器廃絶へと大きく前進しています。

アメリカなど核保有 5 大国は、今年 1 月 3 日「核戦争に勝者はなく、決して戦ってはならない」との共同声明を発表しました。これは、これまで私たちが取り組んできた「ヒバクシャ国際署名」など草の根の運動が、核大国を追いつめていることの現われです。

核大国による軍事侵略と核使用の威嚇が続くウクライナ問題の現状や高まる東アジアでの核大国間の緊張は、「核抑止」や「核の傘」の危険な実態を改めて明らかにしています。核大国は、緊張と対立、軍拡の政策をやめ、紛争の平和的な解決と核兵器の完全廃絶の合意実行に、誠実にあたるべきです。

その中で、日本政府が、アメリカの核政策に追随し、核兵器禁止条約に背を向けていることは世界唯一の戦争被爆国にあるまじきことです。日本政府に、アメリカの「核の傘」から抜け出し、核兵器禁止条約に署名、批准することを求めます。

「日本も核兵器禁止条約に参加を」の声を大きくひろげ、様々な分野でたたかう人々との連帯と共同を豊かに発展させましょう。

被災 68 年 3・1 ビキニデーを出発点に、草の根の行動に踏み出そう。

- ◇ ロシア軍は直ちに武力行動を停止し、撤退せよ。ウクライナの主権を尊重し、国連憲章にもとづく紛争の平和的解決、核兵器全面禁止を要求する世論を広げよう。
- ◇ 核兵器禁止条約を力に、核兵器禁止・廃絶実現へ、共同をひろげよう。
- ◇ 日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める運動をひろげよう。
- ◇ 日本政府にビキニ事件の被災者の救済を要求し、被災の全容調査と補償を求めよう。
- ◇ 長崎を含むすべての原爆被害者の「黒い雨」体験者を救済させよう。
- ◇ 被爆者の証言活動、原爆写真展を開催し、被爆の実相を広めよう。
- ◇ 原発再稼働に反対し、原発からの脱却と自然エネルギーへの転換を求めよう。
- ◇ 地球温暖化、ジェンダー平等などの運動とも連帯しよう。
- ◇ 国際社会の連帯と共同を強め、軍事費よりもコロナ対策に予算を回そう。
- ◇ 「敵基地攻撃」軍拡など戦争する国づくりに反対し、戦争放棄の憲法 9 条を守り活かそう。
- ◇ 原水爆禁止平和行進をすべての自治体につなごう。

ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ、ビキニ、ノーモア・フクシマ、ノーモア・ヒバクシャ、ノーモア・ウォー

2022 年 3 月 1 日 被災 68 年 3・1 ビキニデー集会